

くりまっこ

元気いっぱい 笑顔あふれる 栗真の子



図書ボランティアさん、図書館司書さんによる読み聞かせ

4月21日(木)に開催した「図書館ボランティア会議」で計画された第1回目の読み聞かせが、5月11日(木)の20分休みに行われました。この日は、1年生を対象とした読み聞かせでした。1年生にとっては、初めての読み聞かせでしたが、子どもたちが集中して聞いている姿が印象的でした。また、5月18日(木)の20分休みには、2年生を対象とした読み聞かせが行われました。2年生は、昨年度に引き続きの読み聞かせでした。子どもたちは関心を持って聞くことができました。



5月11日(木)のお昼休みには、図書館司書の鈴木さんによる、大型絵本の読み聞かせがありました。読み聞かせが始まる頃の集まり具合は少なかったのですが、時間とともに、給食の後片づけが終わった子たちが集まってきました。司書さんの言葉の投げかけにも反応するなど、参加した子どもたちは、楽しい時間を過ごすことができました。



「読書を継続することのすばらしさ」については、「学校だより」の第5号でお伝えしましたが、「読み聞かせ」も、子どもたちの成長に良い効果があると言われていています。本を読んであげるより、自分で読んでいる方がよいと思われがちですが、実はそうではないのです。読み手が「表情豊かに語る」ことにより、感性が豊かになります。また、興味深く聞くことから、集中力が身につきます。さらに、知的好奇心が刺激されます。そして、想像力や語彙力も育てられます。それだけでなく、親から子への「読み聞かせ」なら、「大事にされている」という思い（愛情）も伝わります。特に、幼少期から小学校低学年までの時期が、「読み聞かせ」の効果が大きいと言われていていますので、夜寝る前や、日中一緒に遊んでいるときなど、親子で「読み聞かせ」が楽しめるといいですね。

1年生と2年生には、これからも月に1度、図書ボランティアさんによる「読み聞かせ」がありますので、楽しみにしててくださいね。図書ボランティアさん、図書館司書の鈴木さん、ありがとうございました。

「津市おはなしグループ連絡会」の方々による「おはなし会」がありました！

5月16日（火）に「津市おはなしグループ連絡会」の方々が来校し、全学年を対象に、「おはなし会」を行っていただきました。3限目には、1年生・3年生・5年生に向けて、4限目には、2年生・4年生・6年生に向けて、それぞれの学年の発達段階に合わせた本を3冊ずつ準備していただきました。準備された本の原作は、日本だけでなく、海外の本も含まれています。本を通して、海外の文化を知るよい機会にもなりました。

この「おはなし会」ですが、前述の「読み聞かせ」とは異なり、本を見せながらではなく、語り手が、本に記載された内容をすべて記憶した上で、子どもたちを前に情感を込めて語っていくというものです。中には、18分ほど語っていただいた本もあり、その記憶力には脱帽してしまいます。おそらく言葉としてではなく、文章を情景に置き換えて覚えているのではと思いました。このことから、読書をすることで、感性を豊かになり、想像力が育つということにも納得できます。「津市おはなしグループ連絡会」の皆さん、ありがとうございました。

